

研究区分	教員特別研究推進（教育推進）
------	----------------

研 究 テーマ	東アジア学術・文化交流のオフキャンパス型アップデート（その4）				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学研究科・教授 （現代韓国朝鮮研究センター兼務）	氏名	奥 蘭 秀 樹
	研究協力者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	小 針 進
		所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤 崎 宏 一
		所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	青 山 知 靖
		所属・職名	韓国東西大学校・外国語学部・教授	氏名	李 元 範
		所属・職名	韓国東西大学校・日本研究センター・研究員	氏名	山 口 達 見
		所属・職名	韓国延世大学校・政経学部・副教授	氏名	朴 成 皓
		所属・職名	韓国延世大学校・政経学部・助教	氏名	金 亨 鐘
		所属・職名	中国延辺大学・外国語学院・副院長	氏名	全 永 男
		所属・職名	中国延辺大学・国際交流合作処・処長	氏名	金 永 燦
		所属・職名	中国延辺大学・国際交流作処・海外事科長	氏名	黄 琴
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	青 山 知 靖

講演題目
多言語コミュニケーションのための中国語タイピング教材の作成
研究の目的、成果及び今後の展望
本研究が目指す東アジア学術・文化交流のオフキャンパス型アップデートを達成するためには、学術・文化交流に参画する本学学生の多言語コミュニケーション能力を総合的に向上させる必要がある。そこで本研究では、Windows パソコンと Microsoft Word の活用を焦点を当て、多言語コミュニケーション能力の向上を目指すことに取り組んだ。今年度は、中国語の初学者である国際関係学部1年生を対象とし、授業の補助教材を試行的に作成した。 教材は以下の4部門から構成される。第一部は、中国語のタイピング練習を行うための準備作業と予備知識を扱う教材である。はじめに、中国語入力のためのソフトウェアをインストールするための「言語の追加」を行う方法を習得する。続いて、英語タイピングの基礎的なルールと日本語・英語・中国語の入力言語の切り替え方法を習得する。 第二部は、中国語タイピングの基礎知識を扱う教材である。中国語タイピングを行うためには、ピンイン（漢字の中国語読み）と四声（4種類の発音）を理解しておかなければならない。この時に、日本語と中国語では読み方が大きく異なること、日本語のローマ字入力とは異なり「L」「Q」「X」を多用することを強調する必要がある。ピンインをおよそ理解すると、中国語の漢字1文字を入力できるようになる。続いて、漢字2～3文字の単語も入力できるようになる。この過程で、すでに習得している日本語のローマ字入力についての知識・スキルを援用することの重要性を理解する。 第三部は、より実践的な中国語タイピングを4つの観点で練習するための教材である。ここでは、実践的な中国語タイピングで必須となる4つのスキルを復習する。具体的には、①ピンインのおおまかな入力、②予測変換、③外国語由来の言葉や外来語の入力、④句読点の入力、の4点である。 第四部は、他言語・複数言語タイピングへの応用を検討するための教材である。第一部で習得した「言語の追加」を行うと、日本語・英語・中国語だけでなく、韓国語やロシア語なども入力できるようになる。このことを通じて、試作教材で習得した知識とスキルが他言語・複数言語のタイピングに簡単に応用できることを理解する。 今後は、ロシア語の初学者を対象とした教材を作成することを目指す。本学学生の多言語コミュニケーション能力を総合的に向上させることを通じて、本学を中心とした東アジア学術・文化交流に積極的に参加する人材の育成に取り組む。